



進路について考えよう (進学編)

1. 進学するにはお金がかかる



言うまでもなく、大学・専門学校等の進学は高校以上にお金がかかります。しかも、大学4年間となると年数も高校よりもまだ長い。大学の初年度納入金は、国立大学では約80万円、私立大学では、最低でも約130万円と言われています。私立大学では一般的に文系の大学より理系の大学の方が学費が高い傾向にあります。大学の学費は昔に比べ、年々増加し続けており、ますます保護者の負担は大きくなっています。将来の自分の夢を叶えるために頑張るのは分かりますが、頑張りたいという“熱い思い”をまずは保護者の方に伝えてください。なぜなら、その費用を支払うのはあなたたちの保護者だからです。急に保護者に自分の熱意を伝えてもお金はすぐには払えませんよ。

①年間の学費 (全国平均)

		年間	4年間
四年制大学	国公立	約 800,000円	約3,200,000円
	私立	約1,120,000円	約4,480,000円
専門学校	商業分野	約1,160,000円	約4,640,000円

②学生の生活費

	1か月	年間	4年間
自宅生	約60,000円	約720,000円	約2,880,000円
下宿生	約110,000円	約1,320,000円	約5,280,000円

③必要経費シミュレーション

		年間	卒業まで
例1	国公立四大+自宅生の場合	約1,520,000円	約6,080,000円
例2	私立四大 + 下宿生の場合	約2,440,000円	約9,760,000円
例3	専門学校(2年間)+下宿生の場合	約2,480,000円	約4,960,000円

※その他のパターンも考えられますので、自分が希望する進路に置き換えてシミュレーションしてみてください。

<参考文献>株式会社リードガイダンス データで見る大学・専門学校キャリアガイド

2. 大学には推薦条件がある

“お金さえあれば行きたい大学に誰でも行ける”というわけではありません。各大学には推薦入試があり、その推薦が受験できる条件として“推薦条件”があります。それぞれの推薦条件をクリアしていないと受験さえできないということです。例えば評定平均が4.3以上という推薦条件を出している大学もあれば、全商簿記検定1級取得者を条件にしている大学もあります。ご存知の人も多いと思いますが、たとえ推薦条件がなくても国公立はセンター試験で点数を取る、いわゆる“学力”がなければ合格できませんし、最近では小論文が可否に大きく影響する大学も増えています。ここですべてを紹介することはできませんので、気になる大学があれば大学のホームページで調べるか、学校の進路室を利用して進路課の先生に遠慮なく聞いてみてください。



各大学推薦条件

<例1> 大阪経済大学

	学部	評定平均	資格
指定校推薦	経営学部(1部)	4.3以上	全商簿記実務検定1級 全商情報処理検定1級 全商英語検定1級 のいずれか

<例2> 関西大学

	学部	評定平均	資格
全商推薦	商学部	4.0以上	全商英語検定1級が必須 + 全商情報処理検定1級 全商簿記検定1級 のいずれか

<例3> 広島修道大学

	学部	評定平均	資格
有資格者	商学部	4.0以上	全商情報検定1級 日商簿記2級・全商簿記1級 基本情報技術者 ITパスポートのいずれか →100点加算

<例4> 京都産業大学

	学部	評定平均	資格
専門課程	経済部 経営学部	4.0以上	全商英検2級 全商情報検定1級 日商簿記2級・全商簿記1級 基本情報技術者 ITパスポートのいずれか